



# [財]日本太鼓連盟

## NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2006年 1月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

財団法人日本太鼓連盟 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:[info@nippon-taiko.or.jp](mailto:info@nippon-taiko.or.jp)

会報

## 年頭のごあいさつ



財団法人日本太鼓連盟

会長 紀内 隆宏

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、日本で国家的な大きな行事が多かった年でした。

当財団もその事業に積極的に協力し、日本太鼓を多くの人に披露することができました。

2月に長野県で行われたアジア初の知的障害者のスペシャルオリンピックス冬季大会においては、資金調達のためのチャリティコンサートを東京で開催、募金全額を募金委員会へお渡しするとともに大会開催中の長野市においても参加86カ国の役員を前に「富岳太鼓竜神組」が演奏を行い、大きな感動を与え大喝采をいただきました。

また昨年は、日本とEU（ヨーロッパ連合）との市民交流年にあたり、日本側におけるオープニングイベントとして演奏会を実施いたしました。

この演奏会には、イギリスからのプロチーム「無限響」とジュニアチーム「影武者太鼓」を招き、日本の「太鼓集団天邪鬼」と「信濃国松川響岳太鼓子供会」との共演による国際色豊かな演奏会となりました。

さらに愛知県で開催された「愛・地球博」においては、財団主催の第8回全国フェスティバルを開催いたしました。また財団評議員の渡辺貞夫氏が総合監督を務められた日本政府主催のジャパンウィークには、ジュニアコンクールの歴代優勝7チームが参集し、演奏を披露、いずれもEXPOドームにつめかけた3,000名の観衆に日本太鼓の魅力、醍醐味を堪能していただきました。

またジャパンウィークに世界4カ国から招いた

打楽器のジュニアチームと日本を代表して出場した「霧島九面太鼓 郷花」との間に友情が芽生え、博覧会後、郷花の地元鹿児島で行われた太鼓コンサートにアフリカのセネガルチームを招待するというまさに太鼓を通じた国際交流を行うことが出来ました。

このような国家的事業に協力し日本太鼓をアピールする一方、従来から実施しております「ジュニアコンクール」を神奈川県横浜市で、「チャリティコンサート」を東京港区で、「全国障害者大会」を京都府亀岡市でそれぞれ当該支部の協力を得て開催し、技術の向上を図るとともに多くの方々に太鼓を楽しんでいただきました。それに加えて一昨年、石川県太鼓連盟が初めて開催された60歳以上の太鼓奏者による「シニアコンクール」の主旨に賛同し、昨年11月の第2回大会を当財団との共催により石川県穴水町において開催いたしました。

また演奏技術の向上と後継者の育成を目的とした講習会については、全国講習会、支部講習会を各3回実施する一方、一昨年から重点事業として取り組んでおります教職員講習会を10回実施した結果、現在公認指導員、技術認定員の資格取得者は、それぞれ198名、4,504名となっております。

このように財団の事業が拡大する中、2006年においても「全国フェスティバル」をはじめとする演奏会や「全国講習会」等の技術普及事業については、当該支部のご協力を得ながら内容を充実し進めていきたいと考えております。

また現在36都道府県に40支部800チーム、23,000名の会員を擁しておりますが、関係者の力添えを得て早期に全都道府県に支部を設置し、更なる会員の拡大を図りたいと考えております。

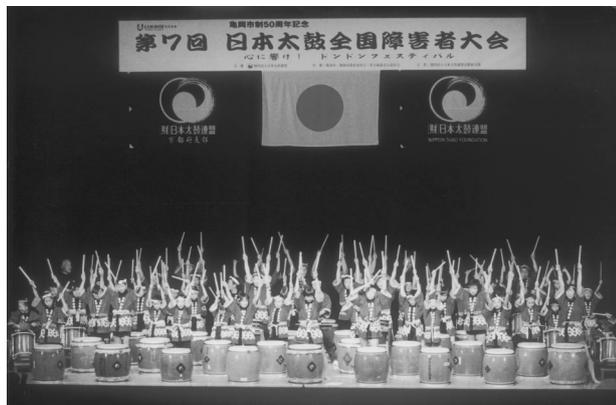
これら事業の遂行には、会員の皆様のご協力が不可欠であり、支部・会員の皆様との連携、協調を図りながら事業運営に当たりたいと考えております。

最後に2006年が日本太鼓界と会員の皆様にとって良い年になるようご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

## 亀岡市制50周年記念

# 第7回日本太鼓全国障害者大会を京都府亀岡市で開催

～過去最高の22チームが熱演～



(かめっ子太鼓)

2005年10月30日、第7回日本太鼓全国障害者大会が、京都府亀岡市において亀岡市制50周年を記念して開催されました。

今回は、(財)日本太鼓連盟主催、亀岡市、亀岡市教育委員会、社会福祉法人富岳会共催、京都府支部主管のもと、厚生労働省、文化庁のほか、地元の京都府、京都府教育委員会等の後援をいただいで行われました。

全国的に広まっております太鼓は、障害者の療育に効用があることが立証されており、社会福祉法人富岳会(山内令子理事長)においては、30年前から補助セラピーや自己表現の手段として取り入れてこられました。1998年に富岳会主催により「第1回全国障害者太鼓演奏会」が静岡県内の団体を集め開催され、より多くの団体にも出演の機会をとの声をいただき、1999年より当財団との共催で、全国大会として実施しております。

今回は、療育的な見地から日本太鼓に積極的に取り組んでいる22チーム、出演者338名が一堂に会し、団体数、出演人数とも過去最高となりました。

オープニングを飾った「かめっ子太鼓」は、亀岡市の障害児学級の児童およそ50名で、この大会のために結成されたチームです。全員そろっての練習時間が限られ、心配していたようですが、本番では全員の息がぴたりと合い、楽しんで演奏している様子が、伝わってくる素晴らしい演奏でした。

各団体の演奏の合間に、障害者の皆さんが自らの体験について発表し、立派に3分間のスピーチを披露しました。

会場ロビーには、富岳会をはじめ地元障害者施設の皆さんが描いた素晴らしい絵画が展示され、多くの方が作品に強い関心を示されていました。

## 次回は、福島県郡山市で開催予定

第8回大会は、2006年9月10日(日)福島県郡山市民文化センターにおいて開催を予定しております。詳細につきましては、当財団事務局までお問合せ下さい。

### <出演団体>

出演順22団体

- |                              |       |
|------------------------------|-------|
| 1. かめっ子太鼓                    | (京都府) |
| 2. NPO法人 視・聴覚二重障害者福祉センターすまいる | (大阪府) |
| 3. 元太鼓                       | (京都府) |
| 4. 石川県立ろう学校 風神太鼓             | (石川県) |
| 5. 静岡県立静岡北養護学校 北龍太鼓          | (静岡県) |
| 6. 諏訪養どんどん太鼓(長野県)            |       |
| 7. 伊豆医療福祉センター どんつく           | (静岡県) |
| 8. 金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム        | (静岡県) |
| 9. 豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」            | (大阪府) |
| 10. 糸口太鼓                     | (大分県) |
| 11. 甲州ろうあ太鼓                  | (山梨県) |
| 12. るんびに学園太鼓                 | (京都府) |
| 13. 四国中央市いわくら太鼓ろうあ部会 鼓龍会     | (愛媛県) |
| 14. 恵那のまつり太鼓                 | (岐阜県) |
| 15. ファミリーユニット童鼓              | (岐阜県) |
| 16. 新潟市ろうあ協会万代太鼓豊龍会          | (新潟県) |
| 17. 仁寿太鼓                     | (島根県) |
| 18. 播州ろう龍姫太鼓集団「鼓鼓呂」          | (兵庫県) |
| 19. やまびこ太鼓                   | (福島県) |
| 20. 豊里学園 和太鼓 鼓粋              | (大阪府) |
| 21. 与謝の海養護学校寄宿舎「与謝の海太鼓」      | (京都府) |
| 22. 富岳太鼓 竜神組                 | (静岡県) |



(富治林支部長)



(絵画展)

「かめっ子太鼓」の体験発表をご紹介します。

京都府亀岡市立育親中学校 1年 山脇 宇宙<sup>ひろし</sup>

全国の皆さん、今日は亀岡ようこそお越し下さいました。

僕は亀岡市育親中学校の山脇宇宙といます。

僕が初めて太鼓に出会ったのは畑野小学校3年生の時です。小学校のやまびこ学級で最初に太鼓の勉強を始めたときは、太鼓がなかったので先生たちが集めてくださった樽太鼓で練習しました。それからPTAや地域の方などの協力で少しずつ太鼓が増えていきました。地域の方は、その地域で大切にしておられた太鼓を僕たちの練習にと寄付をしてくださいました。そんな太鼓を僕たちは大切にしながら練習をしました。

最初に教えてもらったのは「雷<sup>いかづち</sup>」です。雷のなる音を頭の中で想像しながら強く打ったり弱く打ったりします。みんなひとりひとり打ち方が違いますが、みんなの太鼓をあわせると力強い夏の雷が表現でき、みんな大好きです。

次に教えてもらったのは「えんやとっこ」です。難しいところは、強いところと弱く打つところを打ち分ける所でした。何度も練習する内にだんだんと打ち分けるコツが分かってきました。そして「勇駒」と「元気いっぱい」という曲も教えてもらい、難しいけど太鼓のおもしろさがだんだんと分かってきました。

僕は太鼓が大好きです。何度も何度も練習して打てるようになった時や、みんなの太鼓の音がそろってきた時は本当にうれしいです。練習の中では、物を大切にすることや礼儀、友達を思いやる心も教えてもらいました。そして何よりも太鼓は僕に自信と元気を与えてくれました。これからもみんなといっしょに太鼓を続けていきたいと思っています。

今日は亀岡の小学校と中学校の障害児学級で学んでいる51名でこの4曲を演奏します。みんなが打てるように、それぞれの学校で一生懸命に練習をしてきました。今日はその練習をみんなの心を一つにして思いっきり太鼓にぶつけていきたいと思っています。

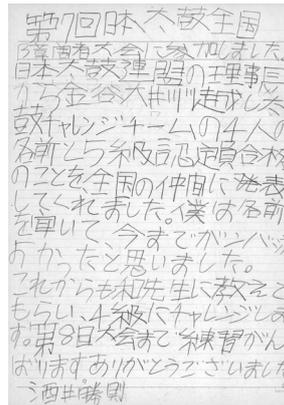
全国の皆さん、僕たちの太鼓をぜひ聞いてください。

現在、障害のある方の技術認定員が増えてきています。講習会に積極的に参加し、健常者と同じく実技と筆記の検定を受験し、認定されています。

今回の障害者大会に出場した「金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム」(静岡県)のメンバーからお手紙が届きましたので紹介いたします。この4名は5級技術認定員です。

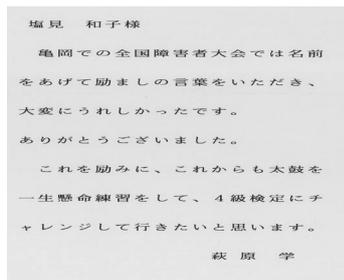
障害者における技術認定員の数

聴覚障害者2名 知的障害者8名 合計10名  
(2級認定員1名、3級認定員3名、5級認定員6名)



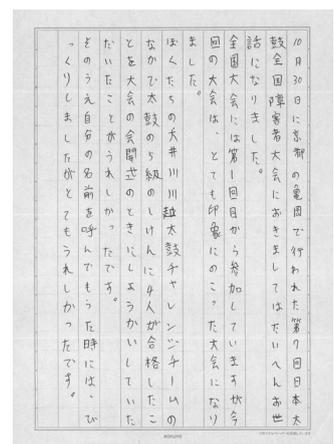
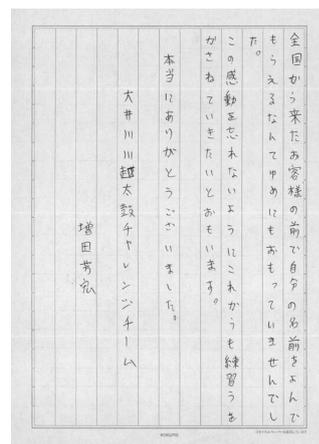
第7回日本太鼓全国障害者大会に参加しました。日本太鼓連盟の理事長から金谷大井川川越し太鼓チャレンジチームの4人の名前と5級認定員合格のことを、全国の仲間へ発表してくれました。僕は名前を聞いて今までガンバッテよかったです。これからも和先生に教えてもらい、4級にチャレンジします。第8回大会まで練習がんばります。ありがとうございます。

(酒井勝則)

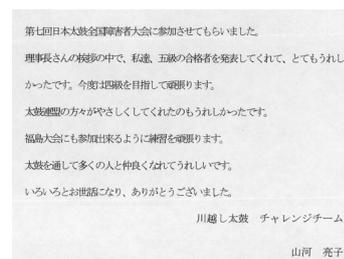


亀岡での全国障害者大会では名前をあげて励ましの言葉をいただき、大変にうれしかったです。これを励みに、これからも太鼓を一生懸命練習して、4級検定にチャレンジして行きたいと思っています。

(萩原学)



10月30日に京都の亀岡で行われた第7回日本太鼓全国障害者大会におきましてはたいへんお世話になりました。全国大会には第1回目から参加していますが今回の大会は、とても印象のこった大会になりました。ぼくたちの大井川川越し太鼓チャレンジチームのなかで太鼓の5級のしげんに4人が合格したことを大会の開会式のときにしようかしていたことがうれしかったです。そのうえ自分の名前を呼んでもらった時には、びっくりしましたがとてもうれしかったです。全国から来たお客様の前で自分の名前をよんでもらえるなんてゆめにもおもっていませんでした。この感動を忘れないようにこれからも練習をかさねていきたいとおもいます。本当にありがとうございます。(増田芳宏)



第7回日本太鼓全国障害者大会に参加させていただきました。理事長さんの挨拶の中で、私達、5級の合格者を発表してくれて、とてもうれしかったです。今度は4級を目指して頑張ります。太鼓連盟の方々がやさしくしてくれたのもうれしかったです。福島大会にも参加出来るように練習を頑張ります。太鼓を通して多くの人と仲良くなれてうれしいです。いろいろとお世話になり、ありがとうございます。

(山河亮子)

## 第2回日本太鼓シニアコンクール全国大会開催

～全国より14組36名が参加～



(優勝・名人 高 銃太郎氏)

2005年11月27日、石川県穴水町において60歳以上による太鼓の大会「第2回日本太鼓シニアコンクール全国大会」が開催されました。

この大会は、他の太鼓コンクールのように技量の面だけを審査するのではなく、それぞれの年齢に応じた太鼓というものがどういうものであるべきなのかを考える場にしたいとの意図ではじめられました。

昨年は、石川県内の大会でしたが、今年は、全国に規模を広げて開催され、県内から11団体、県外(富山、福島、岐阜)から3団体の参加。今回の出場者の最高年齢は、86歳でした。

### 審査基準

◇全国より公募したシニアの太鼓打ちが出場するコンクールとする。参加は、コンテストの対象となる打ち手が60才以上の個人であることが条件となる。

また、リズム奏者との共演については、1名の共演者のみ60歳以下でも認め、2名以上のリズム奏者との共演は全員60才以上で構成することとする。

◇演奏時間は、3分以上5分未満とする。

◇審査は大会審査員及び石川県内で行う日本太鼓ジュニアコンクール予選会に出場するジュニアチームの代表者8名が審査にあたる。

◇ジュニア審査員は、次の項目について手元の札を

上げる公開判定を行う。

- ①音が良く出ていると思ったか
- ②バチさばきがよいと思ったか
- ③見て聞いて楽しさを感じたか
- ④見て元気を感じたか
- ⑤すごくうまいと思ったか

### 大会審査員

塩見 和子 (財)日本太鼓連盟 理事長  
江頭 啓輔 三菱ふそうトラック・バス(株)会長  
木越 治 金沢大学文学部教授  
池田 庄作 (財)日本太鼓連盟 副会長  
浅野 義幸 (株)浅野太鼓楽器店 当主

### 結果

名人 高 銃太郎

(加賀白山太鼓吹雪会・石川県加賀市)

### 準名人

今井 博、高沢正一、山下良、高森孝夫

(七尾豊年太鼓保存会・石川県七尾市)

本村清、中嶋忠志、河端登

(山代湯の華太鼓・石川県小松市)

河合睦夫(越中いさみ太鼓・富山県砺波市)

和田昭男(九谷太鼓保存会・石川県能美市)

### 特別賞

高柳常栄、久保一夫、坂本勝太郎

(鹿島天平太鼓保存会・石川県中能登町)

東出南弥子(共栄太鼓風雅・石川県小松市)

二階堂字一

(油井甚句保存会・福島県安達郡)

青谷正秋、堀江寛、青谷雪子、赤堀幸子、

岩谷照子(うずら太鼓・岐阜県岐阜市)

以上20名

### 次回は、石川県白山市で開催予定

第3回大会は、2006年11月26日(日)石川県白山市・松任文化会館において開催を予定しております。

### 津田正前会長が瑞宝重光章を受章

昨年の春の叙勲におきまして、津田正前会長が瑞宝重光章に輝かれました。津田前会長は、昭和30年から平成2年にわたり、自治省(現・総務省)に勤務、自治事務次官等を歴任されました。この度の受章は、長年に渡る自治行政への功績が認められたものです。心よりお祝い申し上げます。

### 渡辺貞夫評議員が旭日小綬章を受章

秋の叙勲におきまして、渡辺貞夫氏が旭日小綬章に輝かれました。渡辺氏は、世界的なジャズサクソフ奏者として、世界中をご自身で歩かれ、世界の子供達に音楽の楽しさを与え、音楽仲間の和を大きく広げられておられます。昨年3月のジュニアコンクールでは審査員を務めていただき、7月より当財団の評議員として、さらに愛・地球博では、総合プロデューサーとしてジャパンウィークで太鼓に活躍の場を与えていただきました。常日頃より日本太鼓に深い理解をいただいております。この度の受章を心よりお祝い申し上げます。

### 田中平一郎佐賀県支部長が佐賀県芸術文化功労賞を受賞

佐賀県の田中平一郎支部長が、「佐賀県芸術文化功労賞」を受賞されました。これは、文化・芸術の発展に貢献した佐賀県内の個人・団体に贈られるもので、太鼓教室を通じた青少年育成などへの積極的な取り組みに対する功績が認められたものです。おめでとうございます。

# 富山、福島で講習会を開催



(開会式で挨拶する河合支部長)

## ＜第24回日本太鼓全国講習会(富山)＞

2005年11月12・13日、全国講習会が、富山県の寺尾温泉において行われました。今回は、富山県支部が主管となり、地元富山県をはじめ、全国25都府県から176名が参加しました。

開会式は熊野事務局長による司会のもと、当財団の塩見理事長、富山県支部から河合支部長がそれぞれ挨拶、引き続き野村砺波市収入役、米原富山県支部顧問より歓迎の言葉がありました。

引き続き、認定式を行い、先日認定された3級公認指導員、川名氏、湯沢氏、今池氏、岡田氏と1級公認指導員、橋本氏、菊池氏、安井氏に認定証とバッヂを授与しました。

二日間の講習後、希望者に検定試験が行われました。学科試験では、子供たちに混じって数十年ぶりに試験を受けるという方も多く、心配ながらも楽しそうな姿が目につきました。

富山県では初めての財団の主催事業でしたが、すべての講座の会場と宿舍が同じという、移動の必要の無い、便利で設備の整った施設を設定していただき、受講生からも感謝の声が寄せられておりました。

### ○専門講座

三つ打太鼓講座	講師	河合 睦夫氏
八丈太鼓講座	講師	菊池 修氏
締太鼓講座	講師	渡辺 洋一氏

### ○基本講座

総合指導	講師	古屋 邦夫氏
3級基本講座	講師	安江 信寿氏
4級基本講座	講師	若山 雷門氏
5級基本講座	講師	松枝 明美氏

技術認定員検定の結果は次の通りです。

1級検定	20名受験	2名認定(16名合格)
2級検定	18名受験	6名認定(15名合格)
3級検定	13名受験	13名認定
4級検定	34名受験	34名認定
5級検定	46名受験	46名認定

## ＜第26回日本太鼓支部講習会(福島)＞

2005年12月10・11日、福島県支部主催による支部講習会が郡山市片平町ふれあいセンターで行われ、3・4・5級基本講座が行われました。

開会式は、渡辺事務局長の司会により、高橋副支部長の開会の辞で始まり、続いて猪越支部長の挨拶がありました。

二日間とも、雪が降りしきる中での講習でしたが、会場内は、熱気あふれる研修が繰り広げられ、地元福島県だけでなく、遠く静岡、岐阜など10県から102名が参加しました。

### ○基本講座

総合指導	講師	古屋 邦夫氏
3級基本講座	講師	安江 信寿氏
4級基本講座	講師	渡辺徳太郎氏
5級基本講座	講師	松枝 明美氏

技術認定員検定の結果は次の通りです。

3級検定	24名受験	24名認定
4級検定	14名受験	14名認定
5級検定	62名受験	62名認定



(開会式で挨拶する猪越支部長)

\* 今後の講習会の予定は、7、8 ページ参照

## 1月現在の認定者数

	公認指導員	技術認定員
特	2	—
1	28	59
2	53	110
3	115	457
4	—	815
5	—	3,063
計	198	4,504
合計	4,702	

## 日本太鼓と学校教育ー 24

今回は、知的障害者の生活施設で指導されている、岡田博勝氏(大阪府・豊里学園和太鼓鼓粋)より、太鼓による療育活動について、寄稿いただきましたので次号と2回に分けてご紹介します。

「リーダーの号令ですべてが始まる(前半)」

豊里学園 和太鼓 鼓粋 会長 岡田 博勝



(学園での指導の様子)

「豊里学園和太鼓 鼓粋」では、練習の始まりや終わりには必ずリーダーが声をかけます。もちろん演奏の時でも、リーダーの号令ですべてが始まります。そうすることでみんなをまとめていく能力が身につくのです。

知的障害児の生活施設「豊里学園」の子供たちは、学園から近くの養護学校に通っています。園生の自己表現の場を作ろうと、約10年前から太鼓を指導に取り入れてきました。

私が指導することになった2001年9月当時、太鼓は3台あるものの皮が破れるなどともな物は無い状態で、施設の職員が太鼓を指導してはいましたが、ただ単に叩いているといった感じでした。さらに練習が始まると、太鼓の音が怖いと言って走り回る女の子、話ばかりしてこちらの話を聞いてくれない子供など、小学部から高等部までの子供が15人もいました。これは大変な所に来てしまったと思いつつ、月2回、2時間の練習をしていました。学園からは「2ヶ月後には出演が入っていますが大丈夫ですかね?」と聞かれ、「大丈夫、大丈夫、2ヶ月もあるがな」と答えたものの、心の中は不安で一杯でした。

そうこうしているうちに太鼓が壊れて使い物にならなくなり、練習に支障をきたしてしまう事態になりました。そこで丸いダンボールで出来た物を貰って、太鼓がわりになんとか練習を続けていました。しかし出演の時にはどうするか?太鼓が無い状態での出演はかなり難しいものがあります。思い悩んだ末に諏訪響太鼓店に無理を聞いてもらい、5台の太鼓を1ヶ月間借りることができました。でも、その後の練習はまた丸いダンボールのニセ太鼓です。「先生!こんな太鼓と違うやんか!」と子供たちの声を無視しながら練習をしていました。太鼓仲間が、三時間もかけて自分のチームの太鼓を運んでくれ練習に使わせていただいた時もありました。

子供たちに本物の太鼓を叩かせてやりたい。でも資金が無い。思い切って銀行に相談に行き、融資窓

口で「あの一太鼓ローンはありますか?」と尋ねました。「はあ?太鼓ローンって何ですか?家のローンとか、マイカーローンならあるんですがね」…。事情を説明しているうちに窓口の人も理解してくれ、早々に太鼓ローンなるものを申請してくれました。一週間で申請が降り、銀行からお金を借りることができました。銀行始まって以来の「太鼓ローン」です。お世話になった諏訪響太鼓店で、長胴太鼓3台、桶胴太鼓1台を購入できました。これで子供たちに本物の太鼓を叩かせてやれると、とても嬉しかった反面、これから太鼓ローンを払っていく私としては、嫁さんに頭が上がりませんでした。

2001年9月11日にニューヨークでテロが発生しました。これは大変な事が起きたと思いました。というのも私は新聞社に勤めており、実際太鼓の練習どころではなく、いつ会社から呼び出しがくるかヒヤヒヤしながら練習をしていたのです。

そんな2002年1月、ある旅行会社から「5月に『ニューヨーク和太鼓コンサート』を開催するので参加しませんか?」との呼びかけがあり、メンバーと相談した結果、応じることにしました。でも子供たちもつれて行くとなると大変です。早速、学園に相談しましたが、学園全体が賛成ではなく反対する職員もいました。そこで、他県の太鼓仲間にも応援していただき学園を説得、知的障害児を中心としたチームに彼らを加えた「豊里学園 和太鼓 鼓粋」としてニューヨークに行くことができました。初めての海外遠征は、見ること、聞くこと、感じることすべてにおいて、日常の学園生活では得られない新鮮な経験だったと思います。帰国後は、子供たちのやる気が俄然出てきました。月2回だった練習も週1回、土曜日から日曜日に朝の10時から夕方5時までのようになり、日本太鼓連盟の教本をフルに活かし、午前中は子供たちも大人も基礎練習を徹底して行い、立ち方や手の上げ方、振り下ろし方、声の出し方など繰り返し練習をしています。右手がドン、左手がコンと決め、初めは声を出して覚えそれから太鼓を叩きます。出来ないところは何度も何度も繰り返し練習をし、一つのフレーズが出来ない子供に合わせて出来るまで練習をするので、出来る子供は自信が出てきて出来ない子供の面倒を見るようになります。出来た子供には褒めてやり、出来ない子供には励ますようにしています。そうする事によって全体にやる気が出てきて、難しい曲も自分からチャレンジするようになります。

(次号へ続く)

うみもり  
海守の集い in 東京

昨年10月23日、東京都・船の科学館において「海守の集い」が開催されました。

海守とは、国民が海岸安全のため監視を行う全国的なボランティアのことで、海について考え、海の知識を深めることを目的として今回のイベントとなりました。太鼓演奏をはじめとして、海の幸コーナーや、パネル展示、救急救命、カヌー体験などが実施され、出演した「のさか太鼓」(千葉県)の演奏は、勇壮なバチさばきで、イベントを盛り上げ、1,000人の参加者の盛大な拍手をいただきました。



(のさか太鼓)

日本財団関連団体役員会議

昨年12月9日、日本財団の関係団体の役員会議において、当財団の活動内容を紹介する機会がありました。毎回団体の紹介が行われていますが、今回は、日本音楽財団、日本太鼓連盟、日本科学協会の3団体でした。日本音楽財団・塩見理事長の説明の後、当財団・中西常務の事業内容の説明に併せ、「邦楽アカデミー」(東京都)の湯沢元一氏と佐々木氏に演奏をしていただき、生の太鼓の音色を披露し、日本太鼓に対する認識向上に、大変効果的でした。

各団体のホームページURL、  
各地のイベント情報を募集

当財団ホームページから、各団体ホームページへのリンクが可能です。リンク希望の団体は、URLをお知らせください。また当財団ホームページに載せて欲しい各地のイベント情報もお知らせください。

お問い合わせ先 [info@nippon-taiko.or.jp](mailto:info@nippon-taiko.or.jp)

ブラジルから日系人奨学生来日

自国と日本との理解促進や地域社会の発展に貢献する、具体的な夢を持つ若い日系人に対し、昨年、日本留学の機会を与える事業「夢の実現プロジェクト」(財団法人海外日系人協会主催・日本財団助成)の募集がありました。

これに、ブラジルから太鼓の作り方を学ぶ夢を持った国吉フェルナンド氏が合格しました。

4月より2年間、日本語学校に通いながら研修した後、ブラジルでその知識と技術を生かすことを目指しています。国吉氏に対して、当財団でもその夢の実現に協力していくつもりです。

第25回日本太鼓全国講習会(大分県)のご案内

期日 2006年2月25・26日(土日)

主催 (財)日本太鼓連盟

主管 全九州太鼓連合、(財)日本太鼓連盟大分県支部

会場 湯布院自然の家 ゆふの丘プラザ

専門講座

御諏訪太鼓講座(複式単打法) 小口 大八氏(長野県)

源流太鼓講座(複式複打法) 長谷川 義氏(大分県)

大太鼓講座(単式単打法) 渡辺 洋一氏(東京都)

基本講座

総合指導 古屋 邦夫氏(技術委員会委員長)

3級基本講座 安江 信寿氏(1級公認指導員)

4級基本講座 若山 雷門氏(1級公認指導員)

5級基本講座 松枝 明美氏(1級公認指導員)

松元 和敏氏(1級公認指導員)

受講料 大人10,000円(会員9,000円)  
高校生以上

子供5,000円(会員4,500円)

参加費 宿泊する場合 大人10,000円  
子供9,000円

(宿泊・食事4食分・記念写真等)

宿泊しない場合一律4,000円

(昼食2回分・記念写真等)

申込み先

(財)日本太鼓連盟 大分県支部

〒879-5506 大分県由布市挾間町挾間894-6

TEL/FAX.097-583-1018

振込:東院内郵便局口座番号17230-15400861

お問い合わせ事務局 野依修視 携帯090-1871-8676

## 事務局だより

### 2006年の予定

#### 全国講習会

2006年 2月25・26日(土日)	大分県由布市	湯布院自然の家 ゆふの丘プラザ	
2006年 6月24・25日(土日)	岐阜県郡上市	鷺が岳高原ホテル	*更新研修会実施
2006年 11月18・19日(土日)	千葉県匝瑳市	のさかアリーナ	*更新研修会実施
2007年 2月14・15日(土日)	宮崎県宮崎市	シェラトンリゾート	*更新研修会実施

\*公認指導員の更新研修会を2006年度の全国講習会と併せて実施します。公認指導員の資格をお持ちの方全員が対象となります。本更新研修会を欠席されますと、資格が失効しますのでご注意ください。

#### 支部講習会

6月北海道札幌市(道央支部)、7月青森県七戸町(青森県支部)、10月北海道室蘭市(道南支部)、11月北海道旭川市(道北支部)、2月宮城県利府町(宮城県支部)、2007年3月東京都港区(東京都支部)を予定しています。

第8回日本太鼓全国障害者大会 2006年9月10日(日) 福島県郡山市民文化センター  
第10回日本太鼓全国フェスティバル 2006年9月17日(日) 青森県七戸町天間林屋内スポーツセンター  
総務大臣杯・文部科学大臣賞 第8回日本太鼓ジュニアコンクール

### 第8回ジュニアコンクール出演団体決定(34都道府県41チーム)

名 称：総務大臣杯・文部科学大臣賞 第8回日本太鼓ジュニアコンクール  
期 日：2006年3月19日(日) 開場10:30 開演11:00 終演予定18:00(リハーサルは前日)  
会 場：まつもと市民芸術館(長野県松本市深志3丁目10番1号 Tel. 0263-33-3800)  
入 場 料：前売 2,000円 当日 2,500円

第8回大会は、各都道府県の予選大会(参加チーム314団体、出場者3,845名、観客数19,873名)で優勝したチーム等が一堂に会し、これまで以上の熱演が予想されます。出場されるジュニアの皆様には相手の思いやりはもちろん礼節を重んじ、ジュニアらしく真摯で元気ある演奏を期待しております。

蝦夷太鼓ジュニア(道東)、厚別本陣はまなす太鼓(道央)、夕張太鼓保存会「竜花」(道西)、颯太鼓(道南)、藤原若潮太鼓(岩手)、利府太鼓(宮城)、刈和野大綱太鼓(秋田)、龍連山太鼓道場「纏組」(山形)、山木屋太鼓クラブ(福島)、天神ばやし保存会(茨城)、岩舟武蔵太鼓ジュニア「和」(栃木)、藤岡市民太鼓 夢現(群馬)、乾武神流川太鼓(埼玉)、太鼓衆 楽～RAKU～(千葉)、邦楽アカデミー 和太鼓 大元組(東京)、相州海老名東柏太鼓(神奈川)、子不知太鼓(新潟)、越中いさみ太鼓保存会 飛龍組(富山)、輪島・和太鼓 虎之介(石川)、雨鳴太鼓保存会(山梨)、御諏訪太鼓子供会 神童太鼓、信州上田真田陣太鼓保存会、信濃国松川響岳太鼓子供会、三好町やまびこ太鼓、浅間温泉火焰太鼓保存会ジュニア(以上長野)、明宝磨墨太鼓保存会(岐阜)、天城連峰太鼓(静岡)、一宮太鼓保存会(愛知)、大和の響き 京(京都)、ドドンコクラブ(兵庫)、掛合太鼓保存会 和童(島根)、川筋太鼓 若衆(福岡)、不知火太鼓(佐賀)、おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎)、人吉ねぶか太鼓(熊本)、ゆふいん源流少年隊(大分)、串間くるみ太鼓(宮崎)、霧島九面太鼓 郷花(鹿児島)、金光藤蔭高等学校和太鼓部“鼓響”(大阪)、下関平家太鼓保存会 勝山会(山口)、比屋根華太鼓(沖縄)  
特別出演：手取亢龍若鮎組(石川・第7回優勝チーム)、アチバイア川筋清流太鼓(ブラジル)ほか